


審査員 プロフィール

【主審査員】

氏名	パク・ナムス(朴南秀) Namsoo Park	国・地域	韓国
肩書等	<ul style="list-style-type: none">○博士(公衆衛生)○韓国 ヒュプスン大学 衛生管理学部 教授○韓国 ヒュプスン大学 地域健康安全センター 代表○韓国 アジョー大学 医学部 地域安全向上センター客員教授○国際セーフコミュニティ・セーフスクール公認審査員		
経歴実績	<p>梨花女子大学衛生教育学部を卒業し、延世大学大学院で博士号(公衆衛生)を取得後、アジョー大学医学部外傷予防地域安全向上センター(セーフコミュニティ支援・認証センター)において国内外のセーフコミュニティの支援に携わる。</p> <p>その後、協成(ヒュプスン)大学において外傷サーベイランス及び安全向上に関する政策評価の研究を進めるとともに、同大学の地域健康安全センターの代表として国内のセーフコミュニティ及びセーフスクールを幅広く支援している。</p> <p>また、国外では、国際セーフコミュニティ・セーフスクール公認審査員として、各国の自治体や学校の認証審査を長年経験してきた。日本においても、多くの自治体の事前指導・現地審査においてご支援いただいている。</p> <p>これらの実績を認められ、現在では国(教育省や健康福祉省)や京義道、ソウル市ソンパ区などにおいて、安全対策・学校安全・安全教育などの専門アドバイザーを務める。</p>		

審査員 プロフィール(オンライン参加)

【副審査員】

氏名	レザ・モハマディ Reza MOHAMMADI	国・地域	イラン・スウェーデン
肩書等	○国際セーフコミュニティ認証センター センター長 ○ストックホルム郡ヘルスセンター長 ○カロリンスカ研究所(医科大学) 研究員 ○国際セーフコミュニティ公認審査員		
経歴 実績	<p>イラン CDC(疾病予防管理センター)のセンター長を務めたのち、スウェーデンのカロリンスカ研究所社会医学部公衆衛生学科で研究を始める(現在も研究員として在籍)。</p> <p>2004年から2015年の間、WHO 地域安全向上のための協働センターの上席アドバイザーを務める。2015年からは国際セーフコミュニティ認証センターの副センター長、2023年からセンター長を務める。</p> <p>1996年から25年以上にわたってセーフコミュニティの分野に関わっており、これまで40以上の認証審査を担当してきた。</p>		

【副審査員】

氏名	アレキサンダー V. クドリアフツェフ Alexander V. Kudryavtsev	国・地域	ロシア
肩書等	○修士(公衆衛生) ○博士(保健科学) ○国際セーフコミュニティ公認審査員		
経歴 実績	<p>ロシアで心理学を学んだ後、スウェーデンのウメオ大学で修士号(公衆衛生)、ノルウェーのトロムセー大学で博士号(保健科学)を取得した(2013)。</p> <p>セーフコミュニティに関しては、ロシアで初めての認証されたシェンクルスクの活動に関わっている。</p> <p>日本の審査については、公認審査員の最終過程の現地研修として鹿児島市と都留市の審査に関わった経験をもつ。</p>		

オブザーバープロフィール

【主審査員】

氏名	白石 陽子(しらいし ようこ) Yoko Shiraishi	国・地域	日本
肩書等	<ul style="list-style-type: none"> ○博士(政策科学) ○一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事 ○国際セーフコミュニティネットワーク 理事 ○アジア地域セーフコミュニティ支援センター連合 事務局長 ○立命館大学衣笠総合研究機構 研究員 ○韓国亜州(アジョー)大学 医学部 客員教授 ○韓国仁済大学(インジェ)大学 顧問教授 ○セーフコミュニティ・セーフスクール公認審査員 		
経歴実績	<p>立命館大学学院政策科学研究科在籍中に安全なまちづくり活動「セーフコミュニティ(SC)」に出会う。京都府・立命館大学等からなる研究プロジェクトチームの一員としてSC発祥の地であるスウェーデンのカロリンスカ研究所(医科大学)に派遣されたことがきっかけでSCの研究を始める。博士号取得後は立命館大学の研究員(ポスドク)を経て、京都大学大学院医学研究科「安寧の都市ユニット」にてSCの研究を続ける。</p> <p>2011年に、WHOセーフコミュニティ協働センター(当時)からSC支援センターとして認証され「一般社団法人 セーフコミュニティ推進機構」を立ち上げる。続いて、同年12月に「インターナショナルセーフスクール(ISS)」の支援・認証センターとして認証され、安全な学校づくりの活動の支援・研究を開始する。</p> <p>国外の活動については、2008年から認証センター(韓国)の公認コーディネータ・審査員、2013年からは(制度変更により)WHOセーフコミュニティ協働センター、2015年から国際セーフコミュニティ認証センターから公認審査員として認証され、アジアを中心にSCおよびISS活動の支援および認証審査を行っている。</p>		